

広島県立大門高等学校における個人情報の紛失について

広島県立大門高等学校（以下「当該校」という。）の教員が修学旅行引率中（令和8年10月6日（火）から10月9日（金））に生徒等の個人情報が入った個人のリュックサックを紛失する事案が生じた。

1 学校名等

大門高等学校（福山市幕山台三丁目1-1）

校長氏名 土佐 吉男（とさ よしお）

学級数 18クラス 生徒数 668名 1年生 220名 2年生 226名 3年生 222名（R8.5.1現在）

2 紛失した文書

①保護者の緊急連絡先：

2学年生徒のクラス、番号、氏名（ふりがな）、性別、保護者の連絡先 226名分

②研修修学旅行健康調査表：

クラス、番号、生徒氏名、治療中の病気や受診履歴、乗り物酔いの状況、服薬状況に関する記載内容、アレルギーの内容等 108名分

③iPad 1台（当該校所有）：修学旅行で撮影した生徒の写真データ 160～170枚 約100名分

④当該引率教員の個人手帳：

・3年生の入試の指導に係る記録（生徒の姓、指導（予定）日 3名分）

・部活動生徒の記録（生徒の姓、〇〇大会出場 3名分）

・保護者との電話記録（生徒の保護者からの電話・来校対応日 3名分）

⑤当該校教職員緊急連絡網：（教職員の氏名、携帯番号 69名分）

3 経緯

○ 令和8年10月9日（金）最終日 15：40頃 新横浜駅東口（解散式を行ったところ）から移動開始

○ 16：00 新幹線ホームで待機している際、該当教員が自身のリュックサックがない事に気づく。
※当該引率教員は、解散式を行った付近（正確な場所は不明）に置き忘れたと認識

○ 16：06 新幹線到着 当該引率教員は生徒引率を優先し、新幹線に乗車

○ 16：20頃 該当教員が教頭へリュックサックの紛失について報告

○ 16：30 教頭から校長へ報告 その後、校長から県教育委員会へ報告

○ 当該引率教員は、新幹線の車内から警察に紛失届を提出

○ 翌日以降、地元の警察署や鉄道会社（相模鉄道、東急、地下鉄）、防災センター、旅行団に随行した添乗員と連携を取るが、今現在リュックサックは見つかっていない。

4 今後の対応

○ 当該校は、本日20日（火）に全保護者を対象とした保護者説明会を開催し、事案の経緯や内容、今後の再発防止策について説明し、謝罪する。（全校生徒への謝罪は19日に実施済）

○ 県教育委員会は、全県立学校に対し、管理職や教務主任を対象とした研修会等を通して、個人情報の適切な取扱いについて改めて指導する。